

## いろいろな限界が見えてきた日本！

先日、トヨタとスズキの業務提携が発表されました。これは、スズキが、環境分野、自動運転車などの技術力、開発資金などについて限界を感じたからだと思います。このような、経営の限界点を迎えている企業や業界が増えているように思うのです。

東芝の粉飾決算では、株主などからの損害賠償金が現在320億円にのぼり、日本における最も高額な損害賠償となっています。しかし、日本の保険会社の引き受け限度額は20億円のため、まるで足りません。これは、1993年、細川内閣で施行された株主代表訴訟によるもので、20年以上前からの法律です。

国際会計基準の怖さを20年近く理解できない日本人。2006年、小泉内閣のもと、会社法で取締役の責任、リスクマネジメントが制定されてから10年、金融商品取引法からは9年、今頃気づいても遅いのです。

富士通は、パソコン業務を中国のメーカーに売却すると発表。シャープは、台湾のメーカーに買収されました。しかし、このことは、30年以上前にGEのジャック・ウェルチが予言しています。最近目立つ、日本企業による外国企業の買収などは、マイナス経済から脱却できない日本が、開発力の限界などからの脱却を図っているようにみえます。このような産業の移り変わり、マーケットの移り変わりなどに日本企業が対応できるかどうか？

かつてアメリカでは、大手百貨店が倒産した後、スーパーが力を発揮します。それが、コンビニにリーダーを奪われます。最近では、千葉の百貨店が閉店、セブン&アイHDも、3つの百貨店を手放しました。1991年には10兆円近くあった売り上げも現在は6兆円を下回るまでに落ち込んでいます。

私は、出身が秋田です。私が子供のころ、冬に、馬がソリを引く、馬ソリというものがあった、そのソリに捉まり、竹スキーで遊んだものでした。しかし、トラックが出現すると、いつの間にか馬ソリは姿を消しました。皆、失業したのです。

それに似たことが、これから起きようとしています。自動運転車です。これが普及すると、バス、タクシー、トラックの運転者が失業するのです。

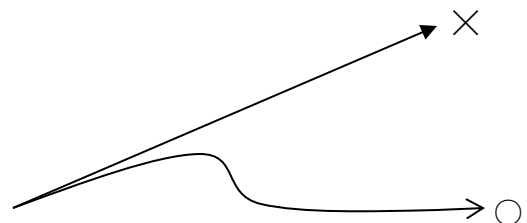
昨年、青森の商業高校に講師で呼ばれて、こういう話を聞きました。商業高校で簿記を勉強しても就職口がない。パソコンの普及によって簿記の必要がなくなったのだそうです。

また、私の友人の会計人は、領収書を写真で撮ると、自動的にパソコンに入力される会計処理システムを開発しています。そうすると、入力処理を行っていた職員が要らなくなるのだそうです。

原子力発電所については、小泉元総理、細川元総理が、再稼働中止を唱えました。昨日まで必要とされたものが、要らないといわれるのです。

このように、必要ではなくなる職業、職種が今後の日本で増加するように思います。パラダイムシフト、今までの道の延長線上に答えがない時代を迎えた日本。さあ、どのように生きていくべきなのか？

<パラダイムシフト>



シニアリスクコンサルタント® 浦嶋繁樹

# 時流を読む

リスクに対する感性が高まれば、自ずと時代の「先」を読む力が備わってきます。最新ニュースをリスクマネジメントの視点で分析し、今後の展開や社会への影響を予想してみましょう。

## 「東芝に105億円賠償を」 個人株主、監査法人を提訴

東芝の会計不祥事を巡り、個人株主が、会計監査を担当した新日本監査法人に対し、約105億円を東芝に賠償するよう求める株主代表訴訟の訴状を東京地裁に送った。代理人を務める「株主の権利弁護団」によると、監査法人への株主代表訴訟は異例という。

同弁護団によると、株主は大阪府内の40代男性。東芝に7月、新日本に対する損害賠償訴訟を起こすよう求める書面を送付したが、東芝が提訴を見送ったことを受けて株主代表訴訟の手続きを取った。

男性は「新日本は東芝のパソコン事業の利益水増しを発見できたのに、日本公認会計士協会が定める指針に沿った対応をせず、会計不祥事を見逃した」と主張。東芝が納付した課徴金約73億円や不正発覚後の追加の監査報酬約30億円などを損害とした。

## NPOのエティック、人材紹介 地方の経営幹部 都市から

起業家の育成などに取り組むNPO法人エティックは、都市部のビジネス人材を地方の中小企業の幹部として紹介するプロジェクト「YOSOMON！」を始める。これは中小企業庁の2016年度のモデル事業で、事業費は6000万円。都市部で3年以上働いた経験がある人を募り、書類選考や面接をした上で来年2月までに地方企業がそれぞれ採用する。仲介料はかからない。人材不足に悩む地方企業と都市部の人材を結びつけ、地域の活性化につなげる狙いだ。

モデル事業にはエティックが選んだ8社が参加。企業は応募者の中から、要望に合う人材を1～2年の期間限定で採用する。双方が合意すれば雇用の継続もできる。各社が用意したポストは役員や事業責任者などで、収入は月20万円程度から年収1千万円超まで幅広い。

8社はエティックと一緒に採用した人の待遇や仕事内容などを検討してきた。温泉街まちづくりの有福振興(島根県江津市)、地域支援のエーゼロ(岡山県西粟倉村)、一時は経営危機に陥った大井川鉄道(静岡県島田市)、面積が日本一小さい村に本社を置く電子部品製造のファインネクス(富山県舟橋村)、ブランド豚「平牧三元豚」の平田牧場(山形県酒田市)やジャム製造販売の瀬戸内ジャムズガーデン(山口県周防大島町)、三陸の海産物を輸出する、水産加工の鮮冷(宮城県女川町)、環境技術を研究する明和工業(金沢市)。

移住を伴う地方企業への転職はハードルが高いが、あえて期間を限ることで「家族を残して期間限定で挑戦したい」「経営幹部としての経験を次のキャリアに生かしたい」という人も応募しやすくなった。

エティックは東日本大震災の被災地と都市部の人材を結び付ける事業を続けてきた。人口減少や高齢化で地域の人材不足が深刻になるなか、都市から地方への人材の流れに一役買う。

## 空手連盟も電力小売り 収益で五輪選手育成

全日本空手道連盟は、11月1日から一般家庭向け電力「空手でんき」を販売する。沖縄県を除く全国で販売予定で、既存の大手電力に比べ最大で1割近く割安なプランを用意する。

全日本空手道連盟は公益財団法人のため、9月に電力販売を担当する武道スポーツ振興エネルギーを設立した。エージーピーが電力を供給し、武道振興エネルギーが全国にある空手道連盟の支部などに売り込んでいく。事業収益は選手の育成費用に充てる。

本コーナーは、(株)日本アルマック/日本リスクマネジメント・プロフェッショナル協会共催セミナー「全国リスクマネジメント研究会」の内容を編集したもので、日経新聞の記事によるものです。セミナーの概要、参加申込方法等については、お気軽にお問い合わせください。

### <発行>

日本リスクマネジメント・プロフェッショナル協会

〒101-0038

東京都千代田区神田美倉町10共同ビル2F 27号

(株)日本アルマック内

TEL:03-5297-1242 FAX:03-5297-1244

URL:http://www.almac.co.jp

### <製作>

株式会社日本アルマック

〒101-0038

東京都千代田区神田美倉町10共同ビル2F 27号

TEL:03-5297-1241 FAX:03-5297-1244

URL:http://www.almac.co.jp

※ご意見・ご要望は上記までお寄せください。